



本多 真

公益財団法人東京都医学総合研究所精神行動医学
研究分野／公益財団法人神経研究所附属晴和病院

睡眠障害国際分類第3版には $60+9+6=75$ の診断分類が記載されています。このうち中枢性過眠症は、夜間睡眠障害の結果ではなく、睡眠覚醒中枢自体の異常に基づく疾患です。

睡眠覚醒調節は、様々な生体内情報(代謝・免疫・内分泌・自律神経等)に合わせて行われ、高次脳機能を支える基盤となります。その異常は様々な身体精神症状と一部共通した病態基盤をもつものと推測されます。

過眠症の随伴症状/併存症状のシンポを通じて、過眠症が単に眠いだけの病気ではない、と知っていただければ幸いです。